

施工延長 L=276.9m

コンクリート路面工 A=1,112m²

L型側溝 L=72.8m
B1補強土壁工 L=71.2m

道路側溝PU3-300
L=66.9m

幅員	50.00
全長	47.126
側溝幅員 L	21.827
側溝幅員 W	1.000
側溝 L	46.218
側溝幅員 W	1.000

幅員	50.00
全長	47.126
側溝幅員 L	21.827
側溝幅員 W	1.000
側溝 L	46.218
側溝幅員 W	1.000

幅員	50.00
全長	47.126
側溝幅員 L	21.827
側溝幅員 W	1.000
側溝 L	46.218
側溝幅員 W	1.000

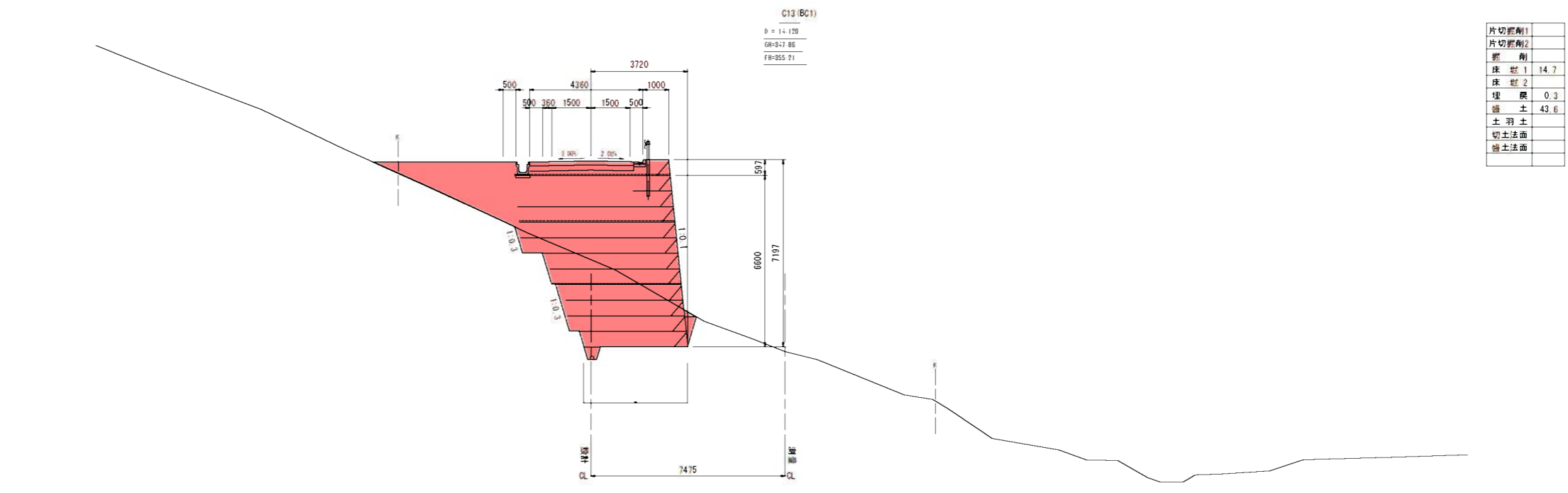
幅員	50.00
全長	47.126
側溝幅員 L	21.827
側溝幅員 W	1.000
側溝 L	46.218
側溝幅員 W	1.000

幅員	50.00
全長	47.126
側溝幅員 L	21.827
側溝幅員 W	1.000
側溝 L	46.218
側溝幅員 W	1.000

幅員	50.00
全長	47.126
側溝幅員 L	21.827
側溝幅員 W	1.000
側溝 L	46.218
側溝幅員 W	1.000

幅員	50.00
全長	47.126
側溝幅員 L	21.827
側溝幅員 W	1.000
側溝 L	46.218
側溝幅員 W	1.000

工事名	平成30年度 生産管理用道路開設工事 (V線:1工区)		
図面名	計画平面図		
作成年月			
縮尺	1:500	図面番号	1
会社名			
事業者名	伊賀市 産業振興部 農村整備課		



C13 (B01)
 0 = 1:4.120
 GH-9:7 86
 FH-9:5 21

片切距離1	
片切距離2	
距離	
床 壁 1	14.7
床 壁 2	
埋 戻	0.3
盛 土	43.6
土 羽 土	
切土法面	
盛土法面	

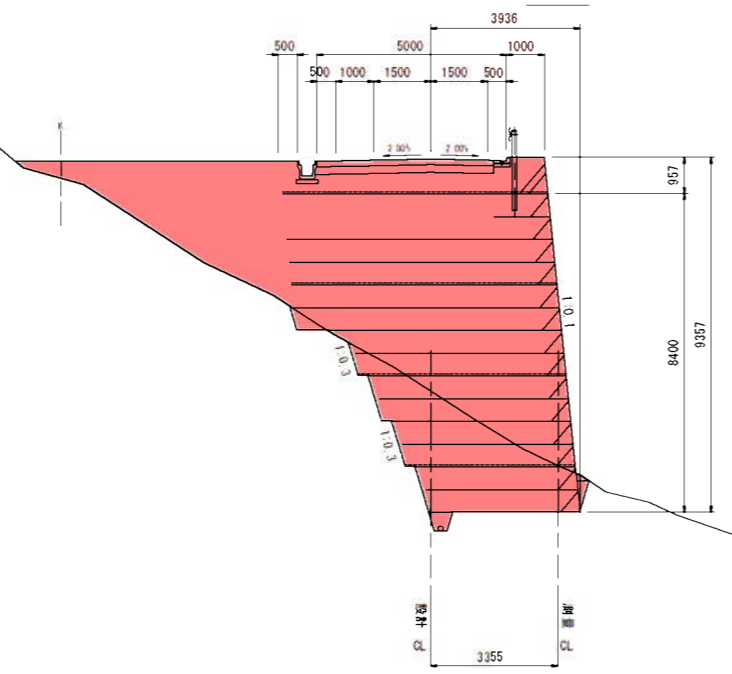
DL=340.00

DL=340.00

NO. 0
 0 = 0.000
 GH-9:0 98
 FH-9:0 94

工事名	平成30年度 生産管理用道路開設工事（VI線：1工区）		
図面名	横 断 図（B-1）		
作成年月			
縮 尺	1/100	図面番号	3
会社名			
事業者名	伊賀市 産業振興部 農村整備課		

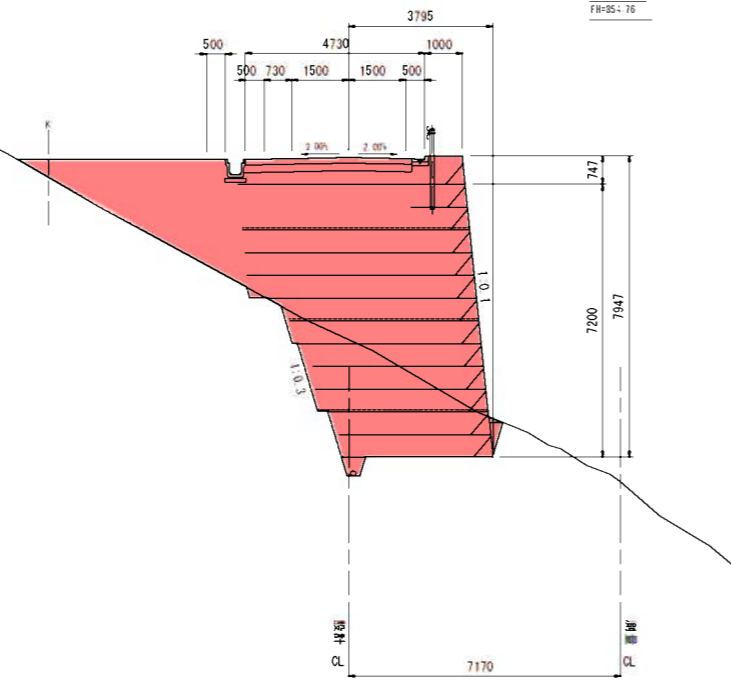
C16 (EC1)
 0 = 24.978
 GH-B45.71
 FH-B59.77



片切距離1	
片切距離2	
標高	
床盤1	20.0
床盤2	
埋戻	0.3
盛土	65.6
土羽土	
切土法面	
盛土法面	

DL=335.00

C15 (SP1)
 0 = 24.548
 GH-B46.72
 FH-B54.76

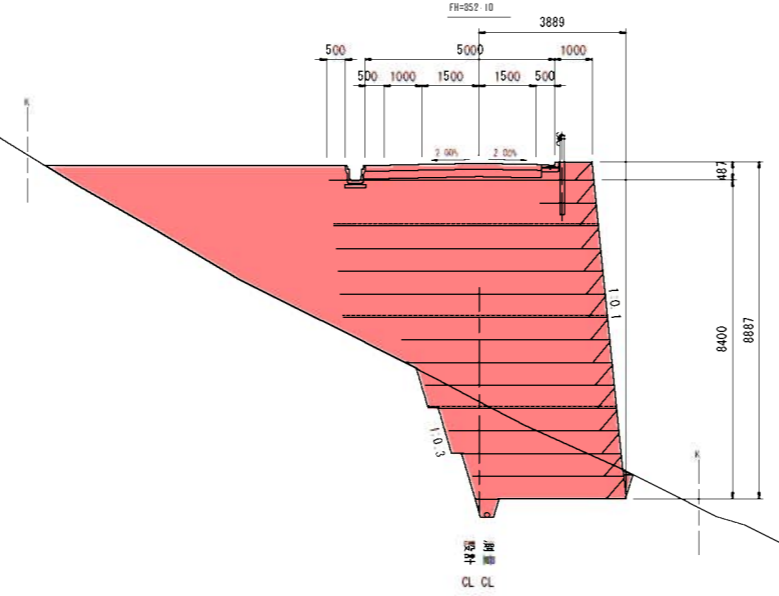


片切距離1	
片切距離2	
標高	
床盤1	11.5
床盤2	
埋戻	0.3
盛土	50.0
土羽土	
切土法面	
盛土法面	

DL=335.00

工事名	平成30年度 生産管理用道路開設工事 (VI線:1工区)		
図面名	横断面図 (B-2)		
作成年月			
縮尺	1/100	図面番号	4
会社名			
事業者名	伊賀市 産業振興部 農村整備課		

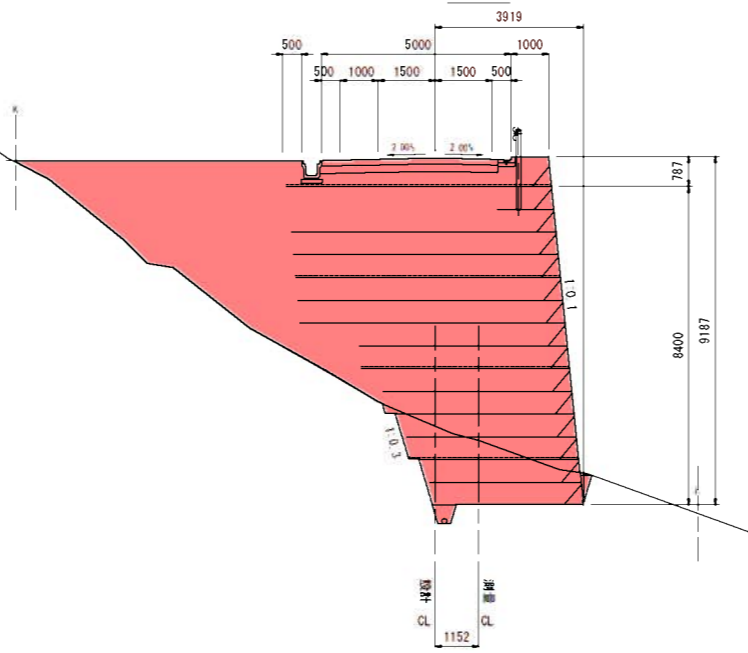
C18 (BC2)
 D = +7.218
 GH=+5.82
 FH=+52.10



片切距離1	
片切距離2	
距離	
床 幅 1	8.9
床 幅 2	
埋 戻	0.3
盛 土	67.7
土 羽 土	
切土法面	
盛土法面	

DL=335.00

C17 (NO. 2)
 D = +0.000
 GH=+4.56
 FH=+53.00



片切距離1	
片切距離2	
距離	
床 幅 1	7.0
床 幅 2	
埋 戻	0.3
盛 土	73.1
土 羽 土	
切土法面	
盛土法面	

DL=335.00

工事名	平成30年度 生産管理用道路開設工事 (VI線:1工区)		
図面名	横 断 図 (B-3)		
作成年月			
縮 尺	1/100	図面番号	5
会社名			
事業者名	伊賀市 産業振興部 農村整備課		

NO. 3+10.474 (NO. 3+14.000)
 ① = 1:1000
 GR=851.72
 FR=849.51

片切掘削1	
片切掘削2	5.2
掘削	17.5
床 盤 1	
床 盤 2	0.5
埋 戻	0.2
盛 土	
土 羽 土	
切土法面	7.6
盛土法面	

DL=340.00

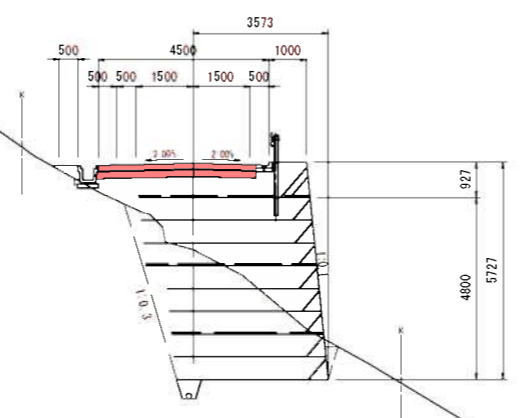
NO. 2+16.474 (NO. 3)
 ① = 60.000
 GR=848.23
 FR=850.87

片切掘削1	
片切掘削2	
掘削	
床 盤 1	9.8
床 盤 2	
埋 戻	0.1
盛 土	23.9
土 羽 土	
切土法面	
盛土法面	

DL=330.00

工事名	平成30年度 生産管理用道路開設工事 (VI線:1工区)		
図面名	横 断 図 (B-4)		
作成年月			
縮 尺	1/100	図面番号	6
会社名			
事業者名	伊賀市 産業振興部 農村整備課		

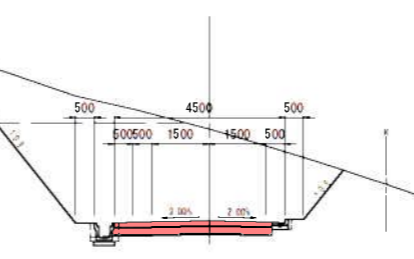
NO. 4+16.474 (NO. 5)
 0 = 100.000
 GH=3.14.00
 FH=3.17.00



片石層厚	
片石層厚	
厚	1.5
厚	
厚	
厚	
厚	
厚	

DL=330.00

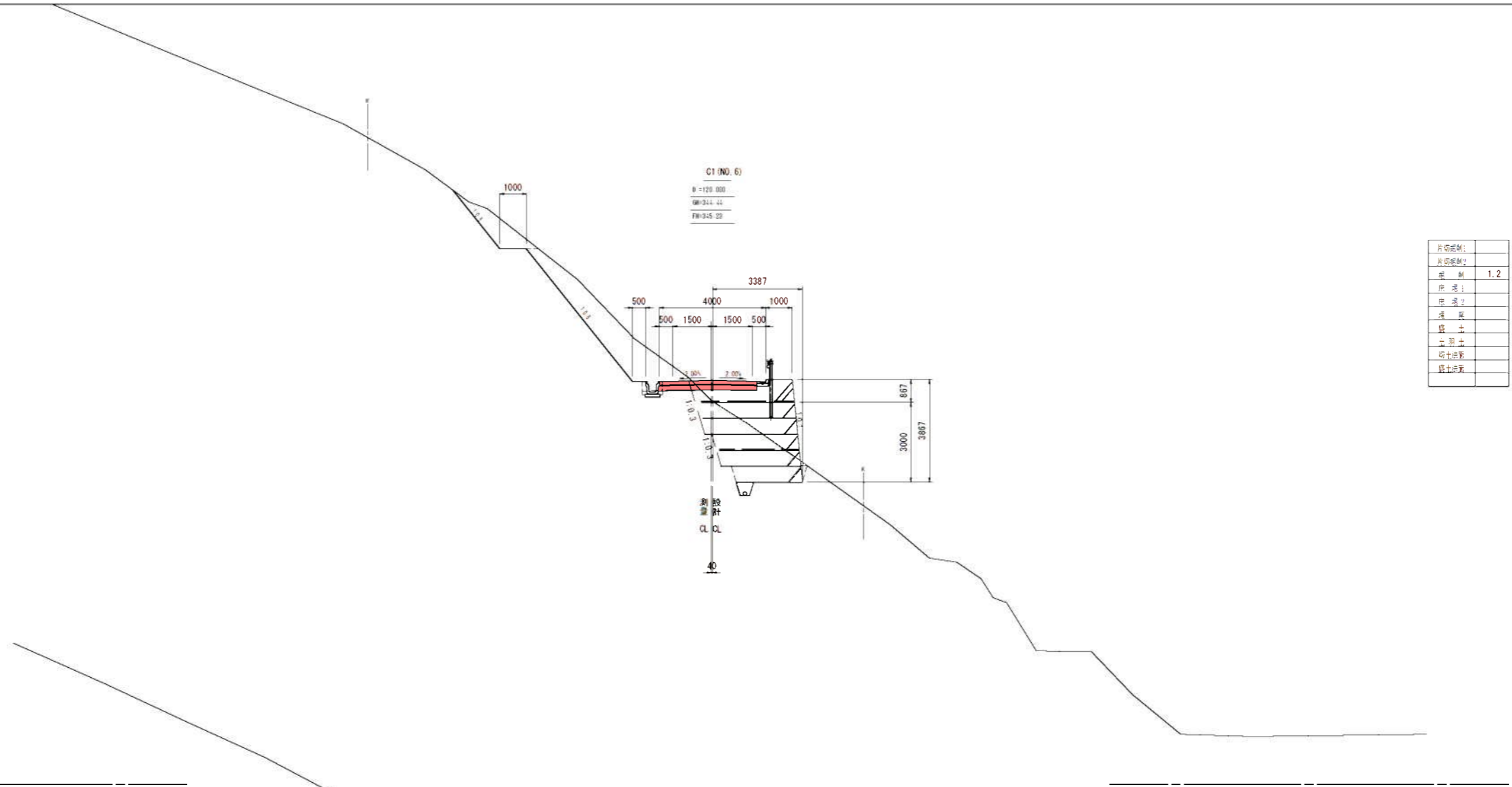
SP2 (SP2)
 0 = 79.435
 GH=5.11.00
 FH=5.08.97



片石層厚	
片石層厚	
厚	1.4
厚	
厚	
厚	
厚	
厚	

DL=335.00

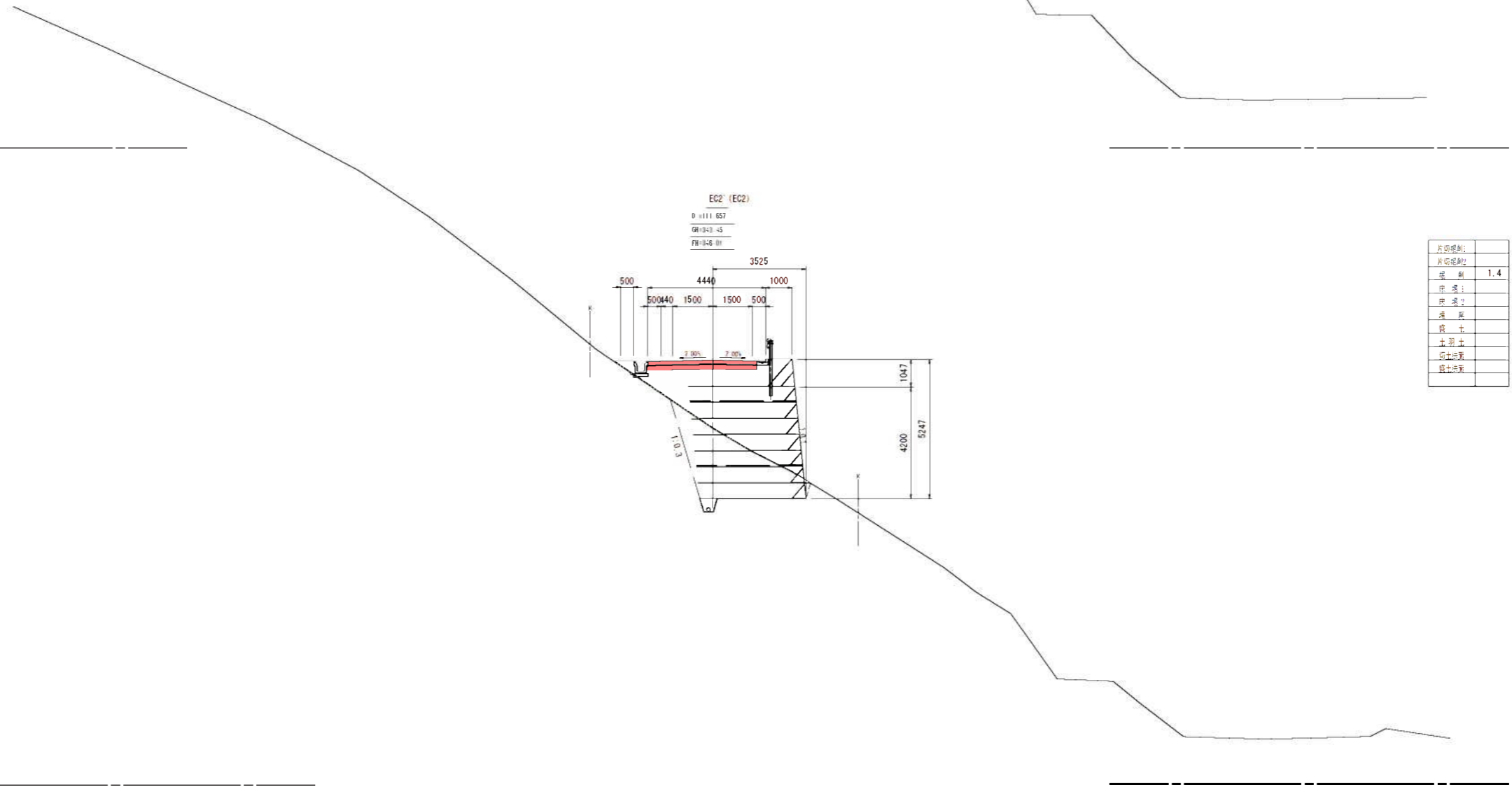
工事名	平成30年度 生産管理用道路開設工事 (VI期: 1工区)		
図面名	横断図 (B-5)		
作成年月			
縮尺	1/100	図面番号	7
会社名			
事業者名	伊賀市 産栗振興部 農村整備課		



C1 (NO. 6)
 B=120.000
 GH=311.44
 FH=345.22

片石规格:	
片石规格:	
规格:	1.2
片石:	
片石:	
片石:	
片石:	
片石:	
片石:	

DL=330.00



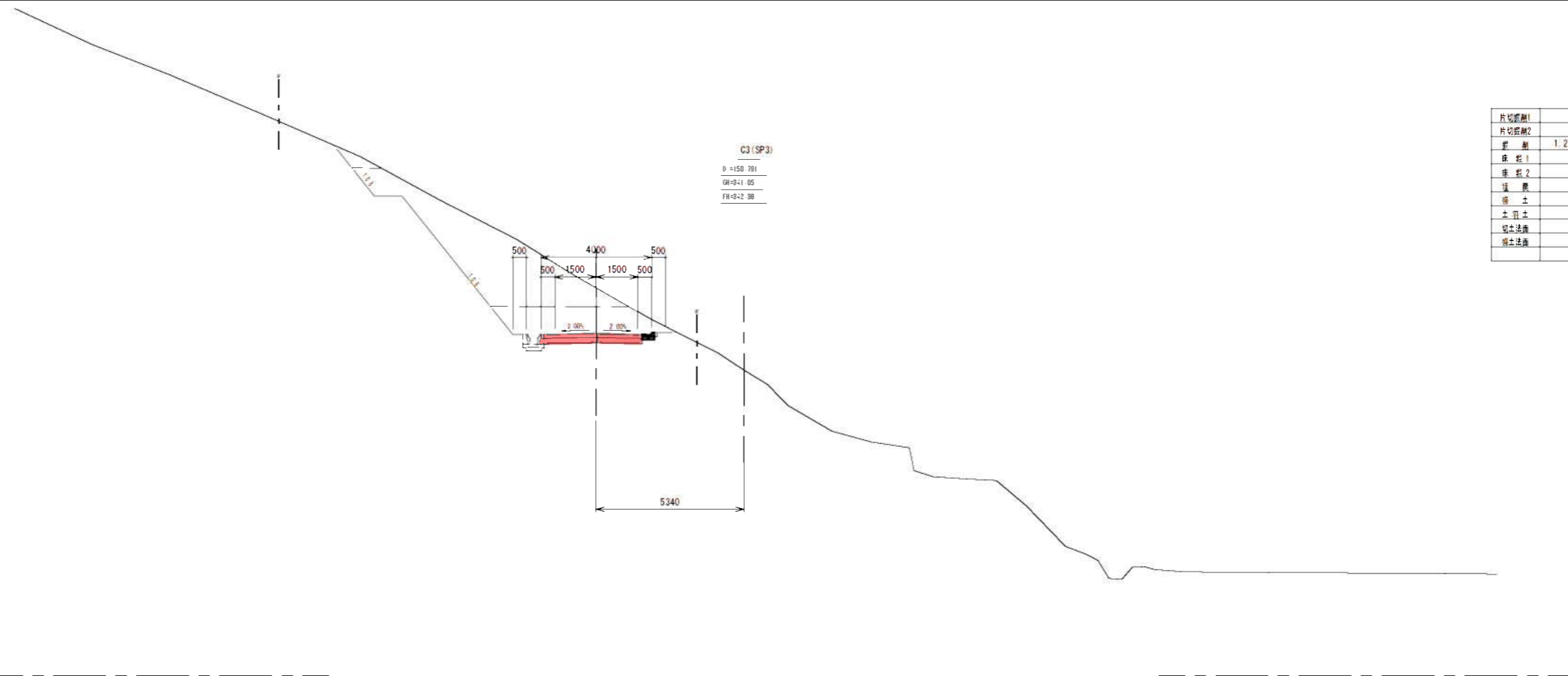
E02 (E02)
 B=111.657
 GH=343.43
 FH=346.81

片石规格:	
片石规格:	
规格:	1.4
片石:	
片石:	
片石:	
片石:	
片石:	
片石:	

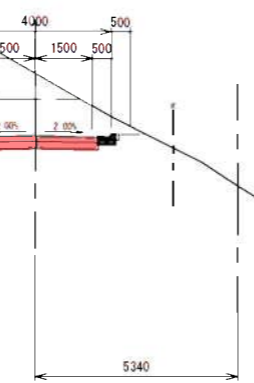
DL=330.00

工程名	平成30年度 生産管理用道路開墾工事 (VI期: 1工区)		
図面名	横断図 (B-6)		
作成年月			
縮尺	1/100	図面番号	B
会社名			
事業者名	伊賀市 産栗振興部 農村整備課		

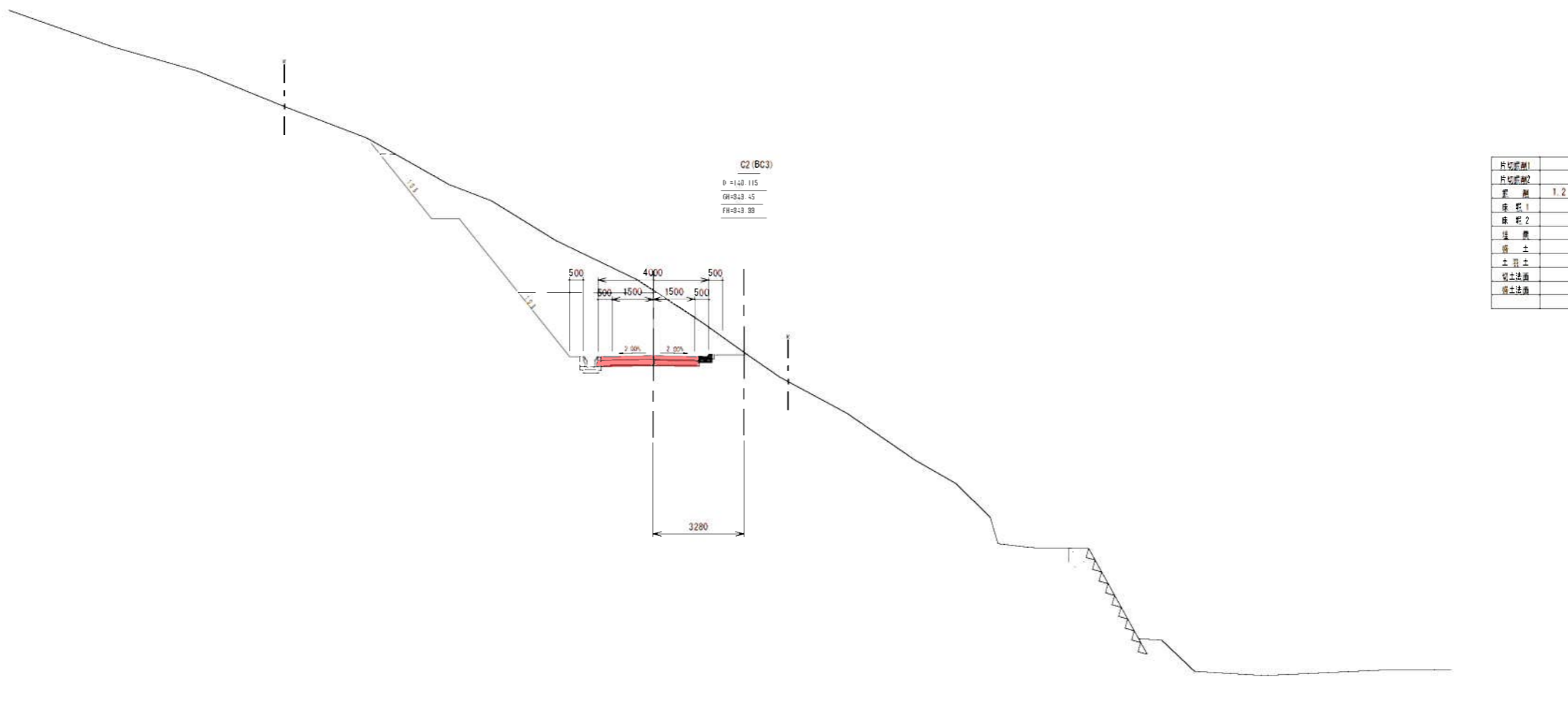
DL=330.00



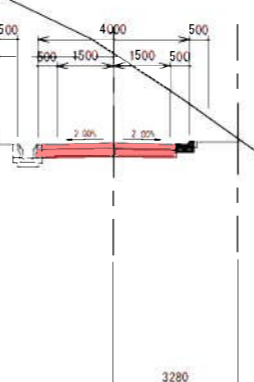
C3 (SP3)
 0 =150.791
 GM=0.1.05
 FM=0.2.30



DL=330.00

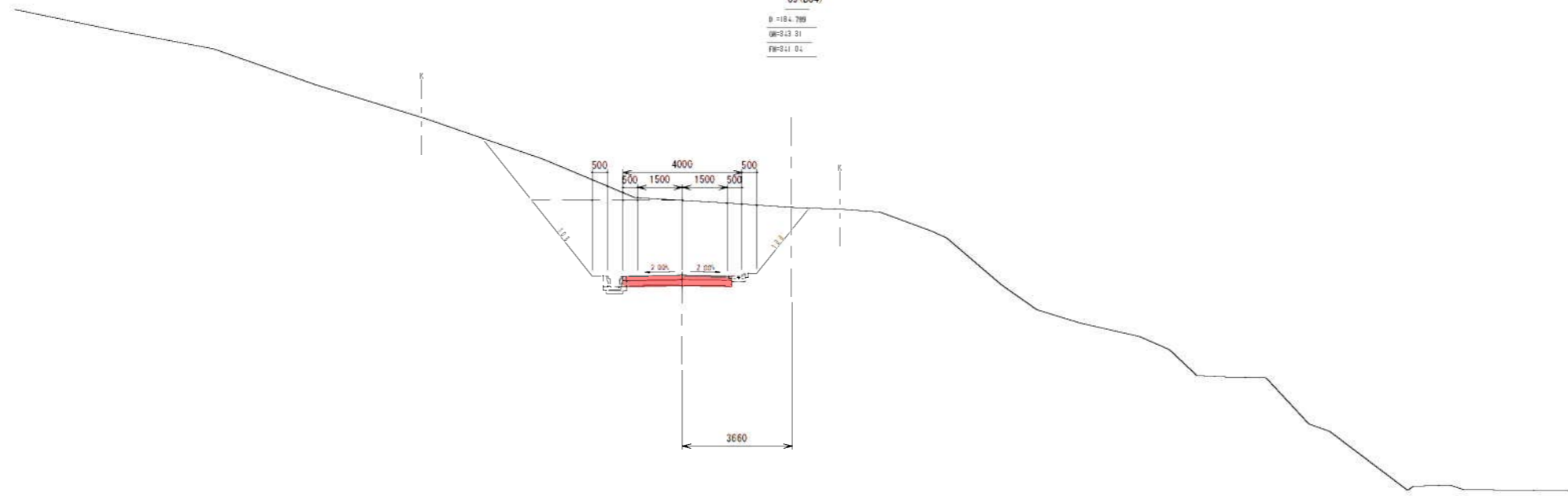


C2 (BC3)
 0 =140.115
 GM=0.3.45
 FM=0.3.30



工事名	平成30年度 生産管理用道路開設工事 (VI線: 1工区)		
図面名	横 断 図 (B-7)		
作成年月			
縮 尺	1/100	図面番号	9
会社名			
事業者名	伊賀市 産業振興部 農村整備課		

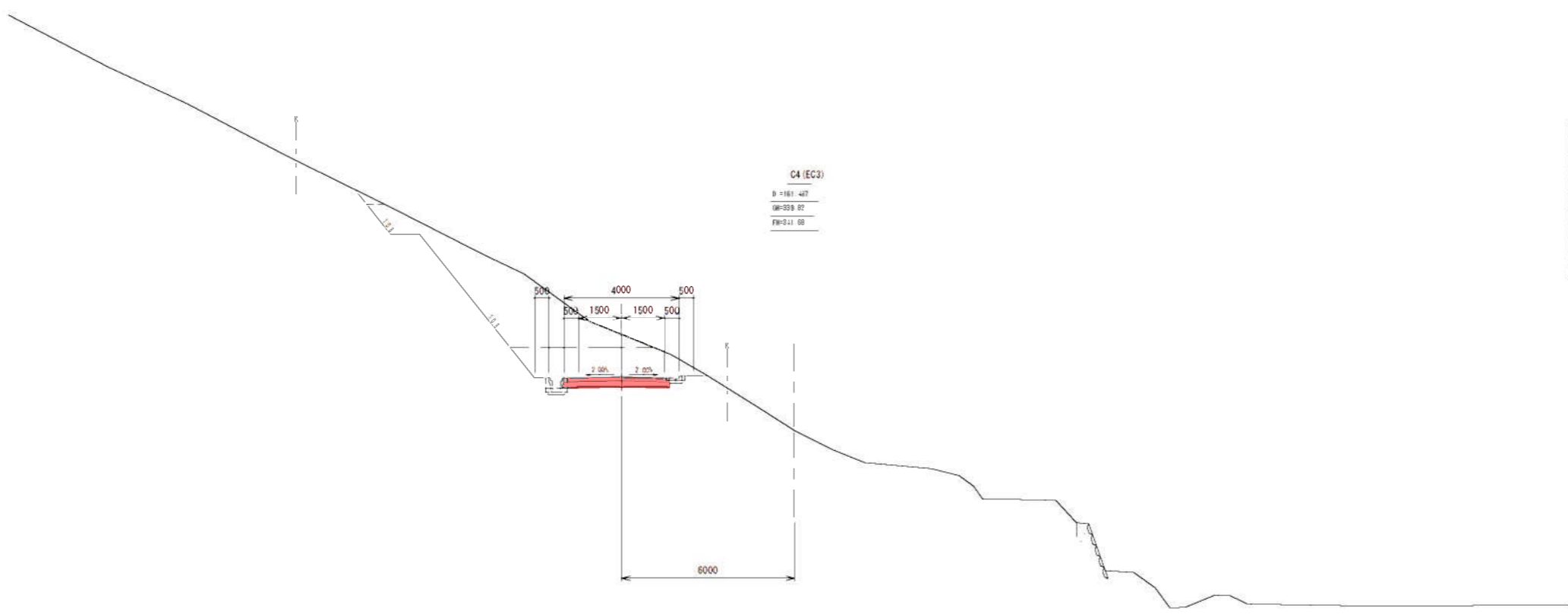
DL=330.00



C5 (BC4)
 B=184.789
 W=9.13.31
 F=0.1.04

片切距離1	
片切距離2	
距離	1.2
標高1	
標高2	
埋土	
土留土	
切土法線	
埋土法線	

DL=330.00

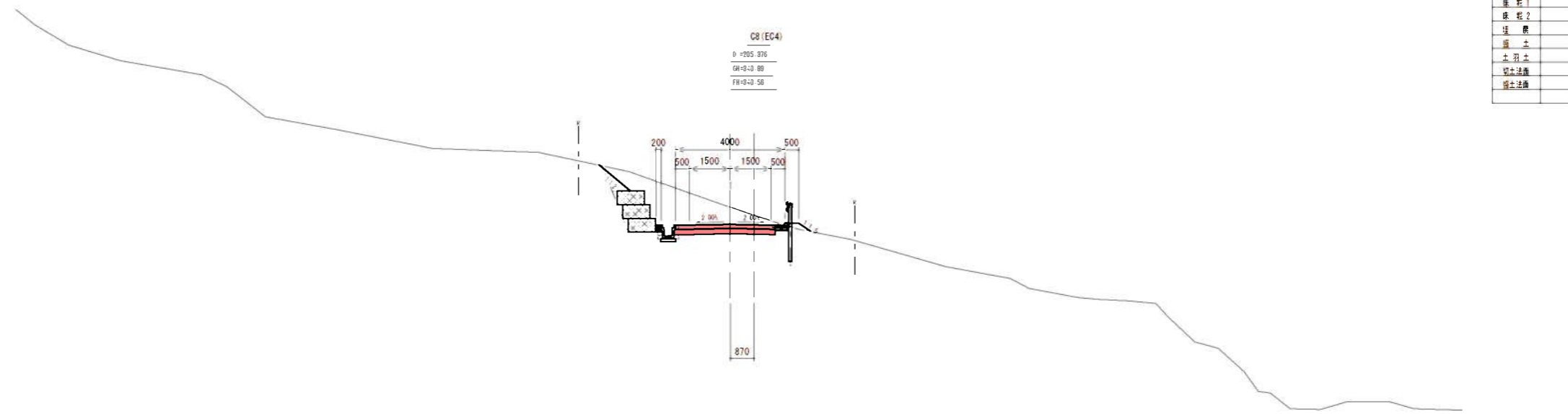


C4 (EC3)
 B=181.447
 W=9.9.82
 F=0.1.08

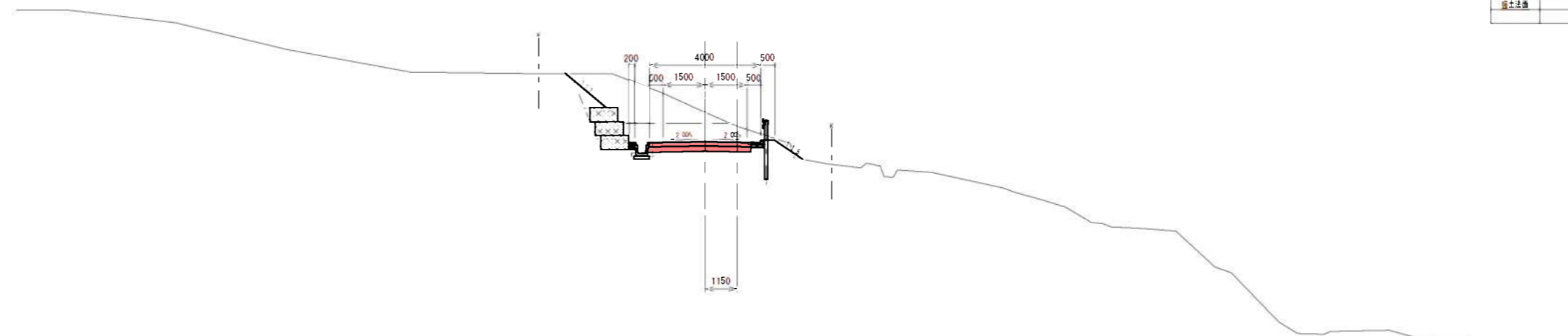
片切距離1	
片切距離2	
距離	1.2
標高1	
標高2	
埋土	
土留土	
切土法線	
埋土法線	

工事名	平成30年度 生産管理用道路開設工事 (VI線・1工区)		
図面名	概 断 図 (B-8)		
作成年月			
縮尺	1/100	図面番号	10
会社名			
事業名	伊賀市 産業振興部 農村整備課		

DL=330.00



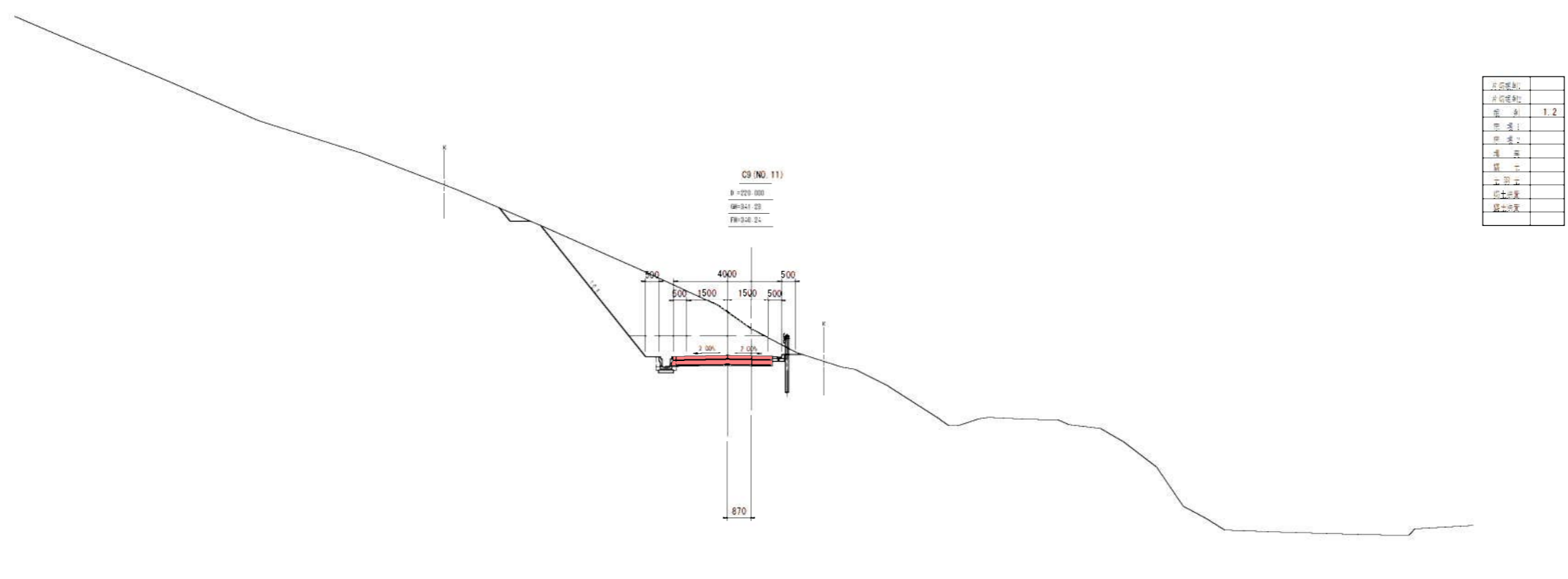
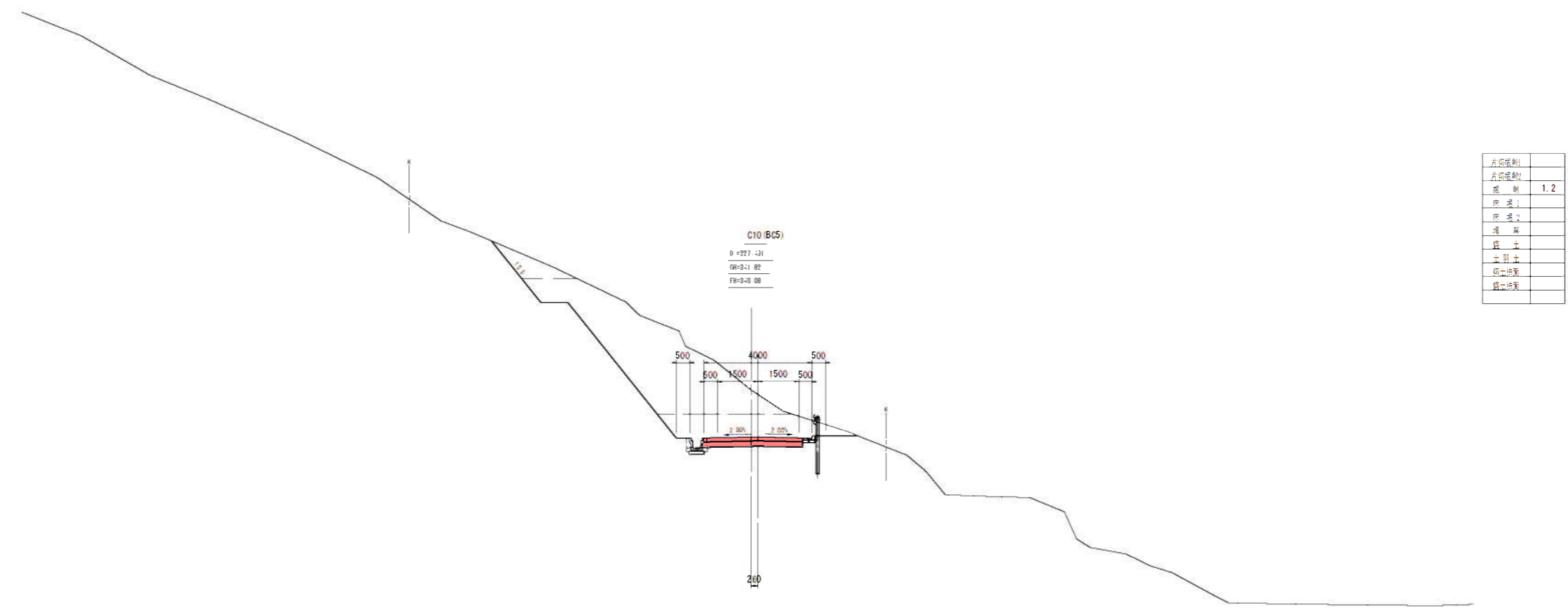
DL=330.00



工事名	平成30年度 生産管理用道路開設工事 (VI期: 1工区)		
図面名	概略図 (B-9)		
作成年月			
縮尺	1/100	図面番号	11
会社名			
事業者名	伊賀市 産業振興部 農村整備課		

DL=330.00

DL=330.00



工事名	平成30年度 生産管理用道路開設工事 (VI期: 1工区)		
図面名	横断図 (B-10)		
作成年月			
縮尺	1/100	図面番号	1-2
会社名			
事業者名	伊賀市 産栗振興部 農村整備課		

C12 (E05)
 B=258.718
 GM=944.30
 FM=899.87

片切距離1	
片切距離2	
縦 断	1.2
床 柁 1	
床 柁 2	
埋 戻	
盛 土	
土 羽 土	
切土法面	
盛土法面	

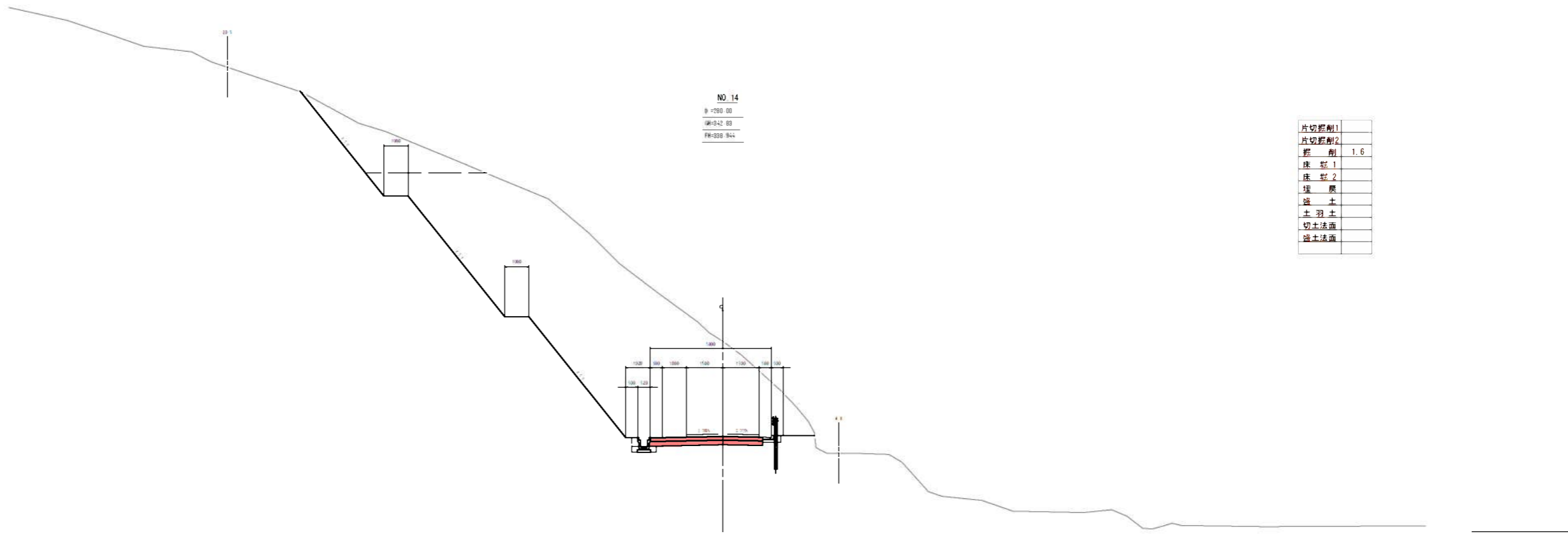
DL=330.00

C11 (SP5)
 B=297.105
 GM=941.98
 FM=899.87

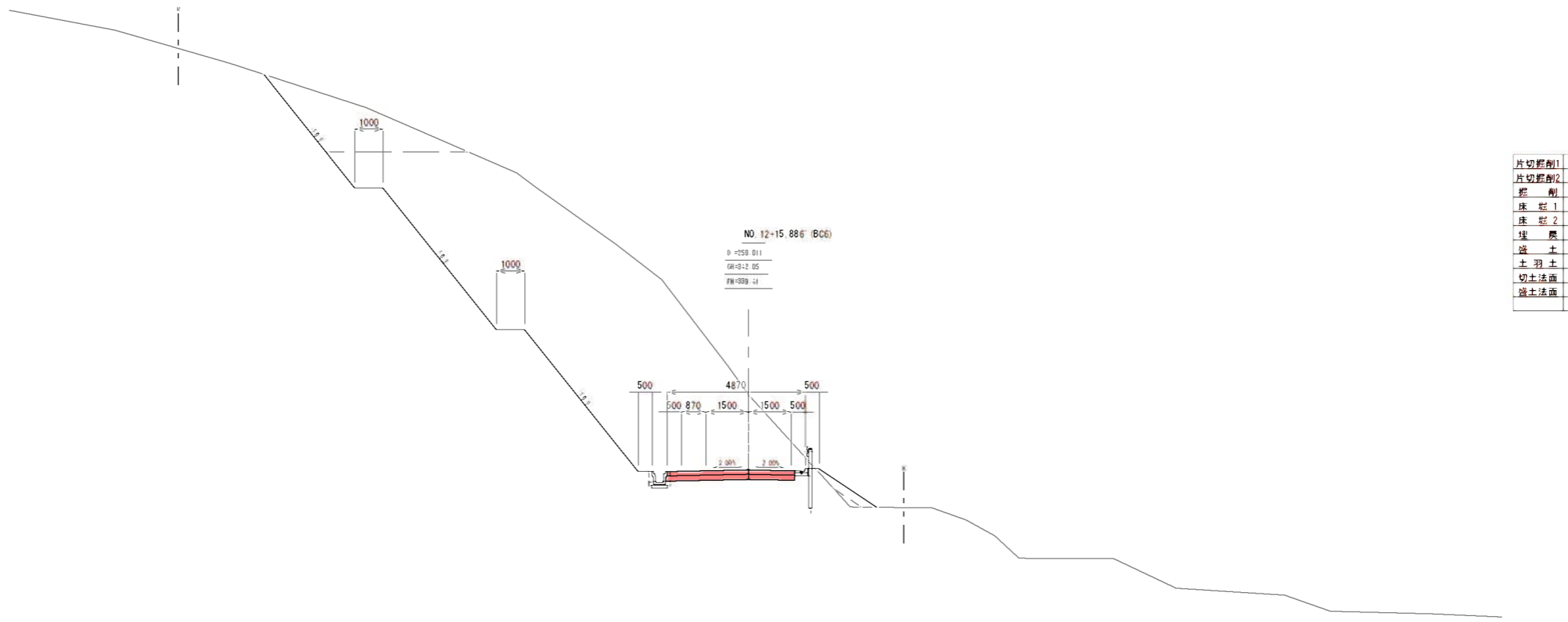
片切距離1	
片切距離2	
縦 断	1.2
床 柁 1	
床 柁 2	
埋 戻	
盛 土	
土 羽 土	
切土法面	
盛土法面	
その他	

DL=330.00

工事名	平成30年度 生産管理用道路開設工事 (VI期: 1工区)		
図面名	横 断 図 (B-11)		
作成年月			
縮 尺	1/100	図面番号	13
会社名			
事業者名	伊賀市 産業振興部 農村整備課		



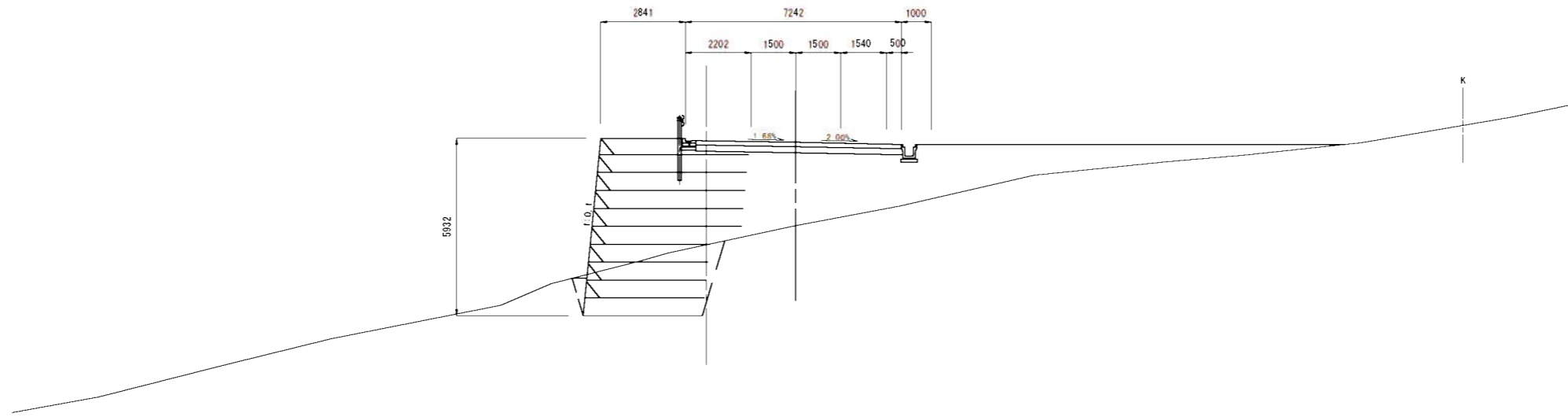
片切整削1	
片切整削2	
整削	1.6
床整1	
床整2	
埋土	
盛土	
土羽土	
切土法造	
盛土法造	



片切整削1	
片切整削2	
整削	1.5
床整1	
床整2	
埋土	
盛土	
土羽土	
切土法造	
盛土法造	

工事名	平成30年度 生産管理用道路開設工事 (VI線 1工区)		
図面名	横断図 (B-12)		
作成年月			
縮尺	1/100	図面番号	14
会社名			
事業者名	伊賀市産業振興部 農村整備課		

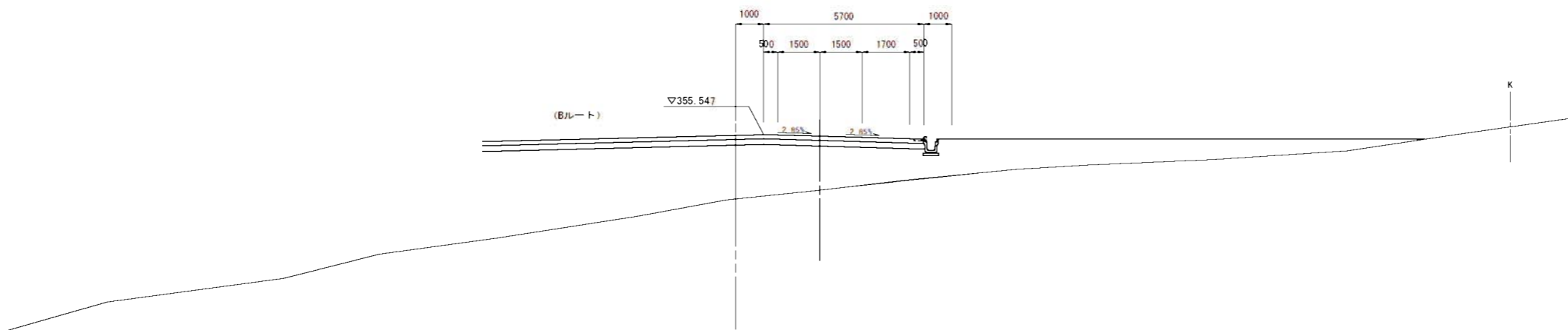
EC13 (NO. 0+2.538)
 GH=352.29
 FH=355.08



片切掘削①	-
片切掘削②	-
掘削	-
床掘①	-
床掘②	-
運戻	-
盛土	11.3
土留土	-
切土法面	-
盛土法面	-

DL=340.00

NO. 0 (NO. 64)
 GH=353.57
 FH=355.49



片切掘削①	-
片切掘削②	-
掘削	-
床掘①	-
床掘②	-
運戻	-
盛土	23.5
土留土	-
切土法面	-
盛土法面	-

DL=340.00

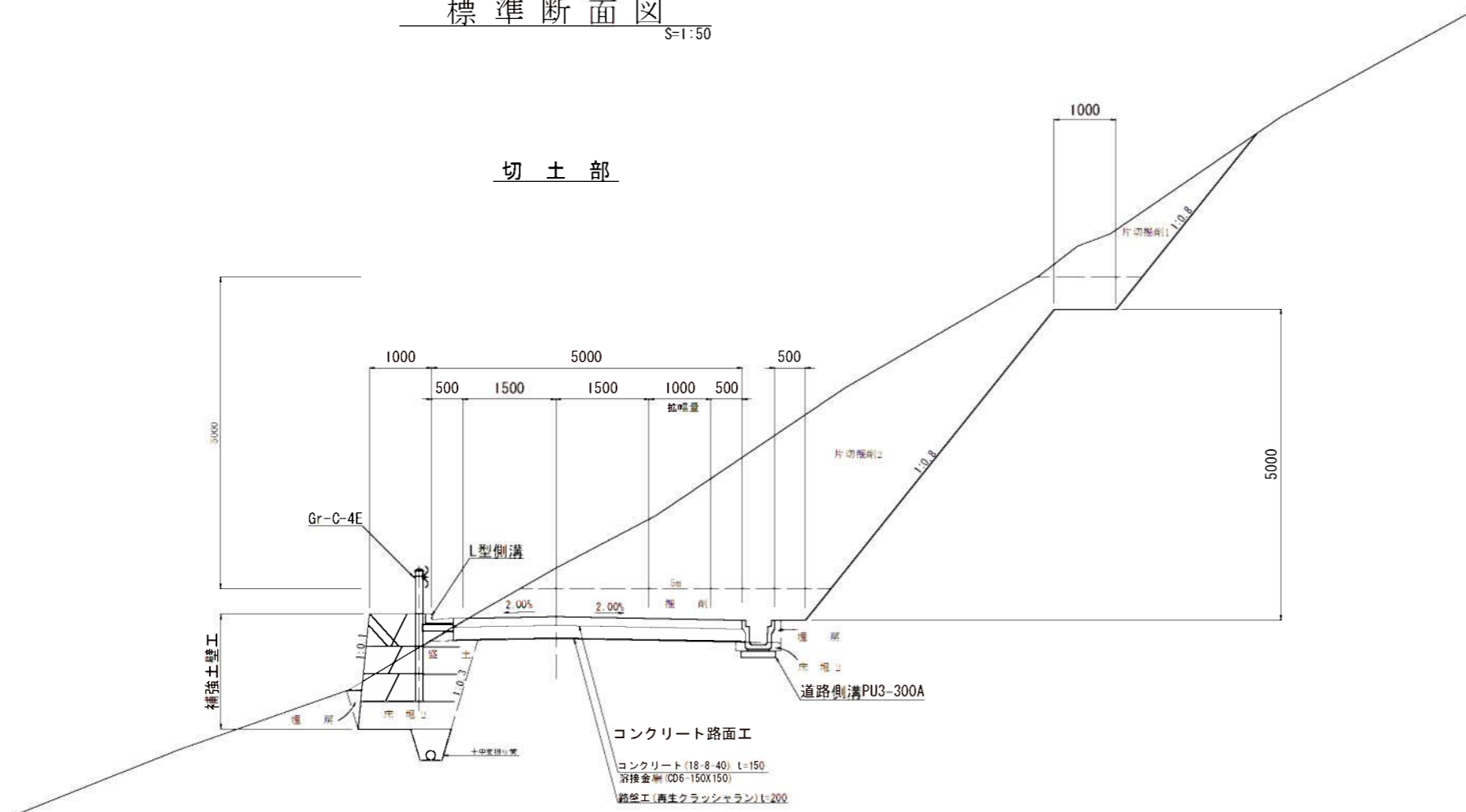
【別途工事：参考図】

工事名	平成30年度 生産管理用道路開設工事（VI線：1工区）		
図面名	横断面（Aルート）		
年月日			
尺度	図示	図面番号	15
会社名			
事務所名	伊賀市産業振興部農村整備課		

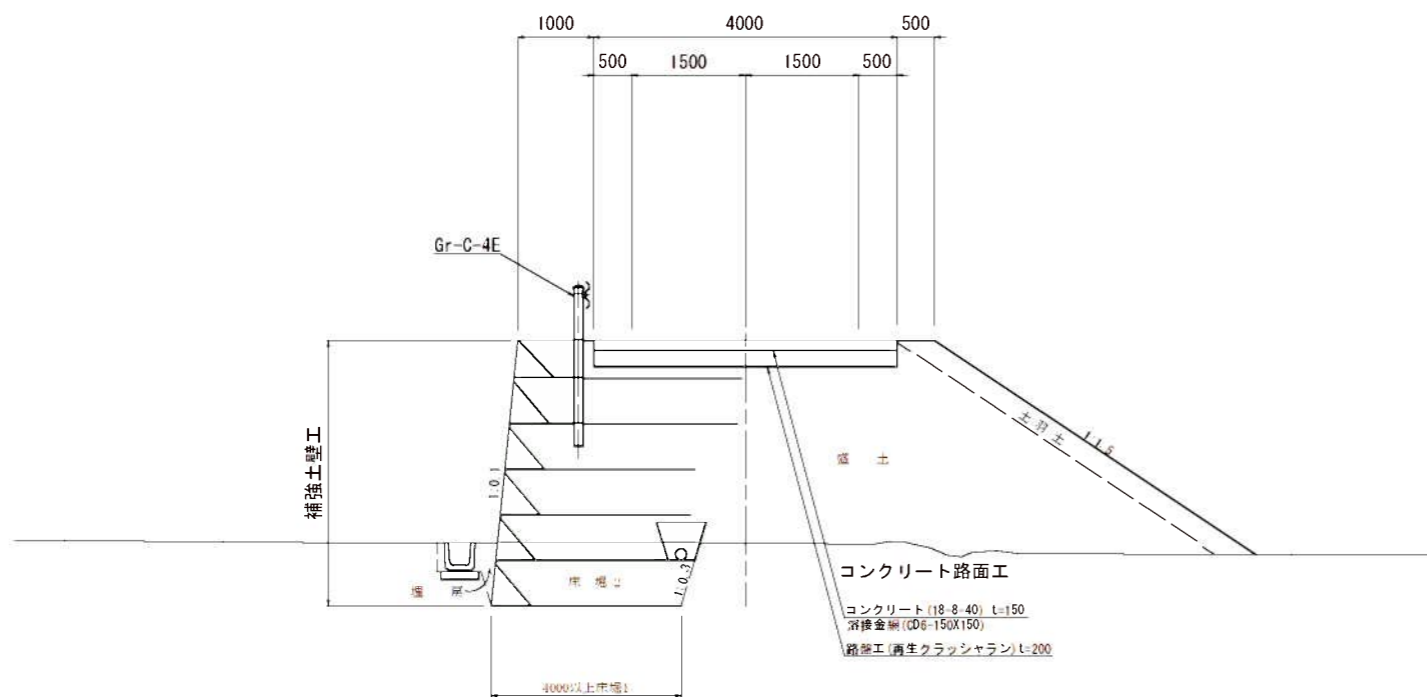
標準断面図

S=1:50

切土部



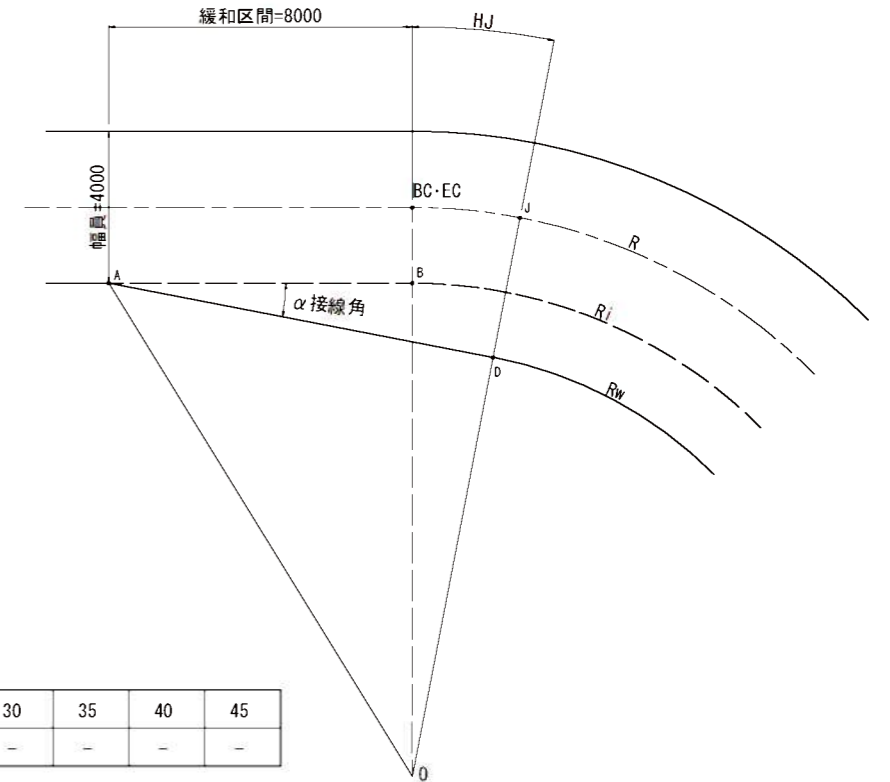
盛土部



緩和区間線形表

幅員W=4.0mのとき AB=8.0m

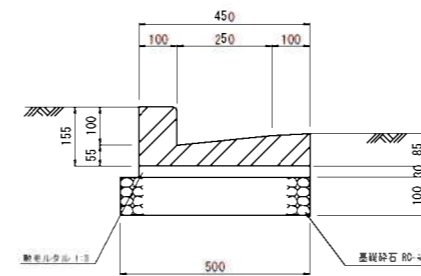
R	拡幅	R _i	R _w	AD接線長	α接線角	BC・EC拡幅量	HJ
10.0	2.25	8.00	5.75	9.744	14-27-17	2.06	2.523
15.0	1.75	13.00	11.25	10.317	10-54-55	1.54	2.858
25.0	1.00	23.00	22.00	10.440	6-12-27	0.87	2.709
30.0	0.75	28.00	27.25	10.268	4-42-05	0.66	2.462
40.0	0.50	38.00	37.50	10.087	3-10-00	0.44	2.211



曲線部の片勾配

設計速度	6	8	10	12	15	20	30	35	40	45
20km/h	3	3	3	3	3	3	-	-	-	-

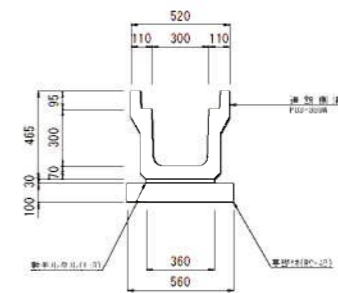
L型側溝 B250B S=1:10



L型側溝B250B

名称	規格	単位	数量	摘要
L型側溝	250B	個	16.5	
砂モルタル	1:3	m ³	0.14	
基礎材	RC-40 t=100	m ²	5.00	

道路側溝 PU3-300A S=1:20



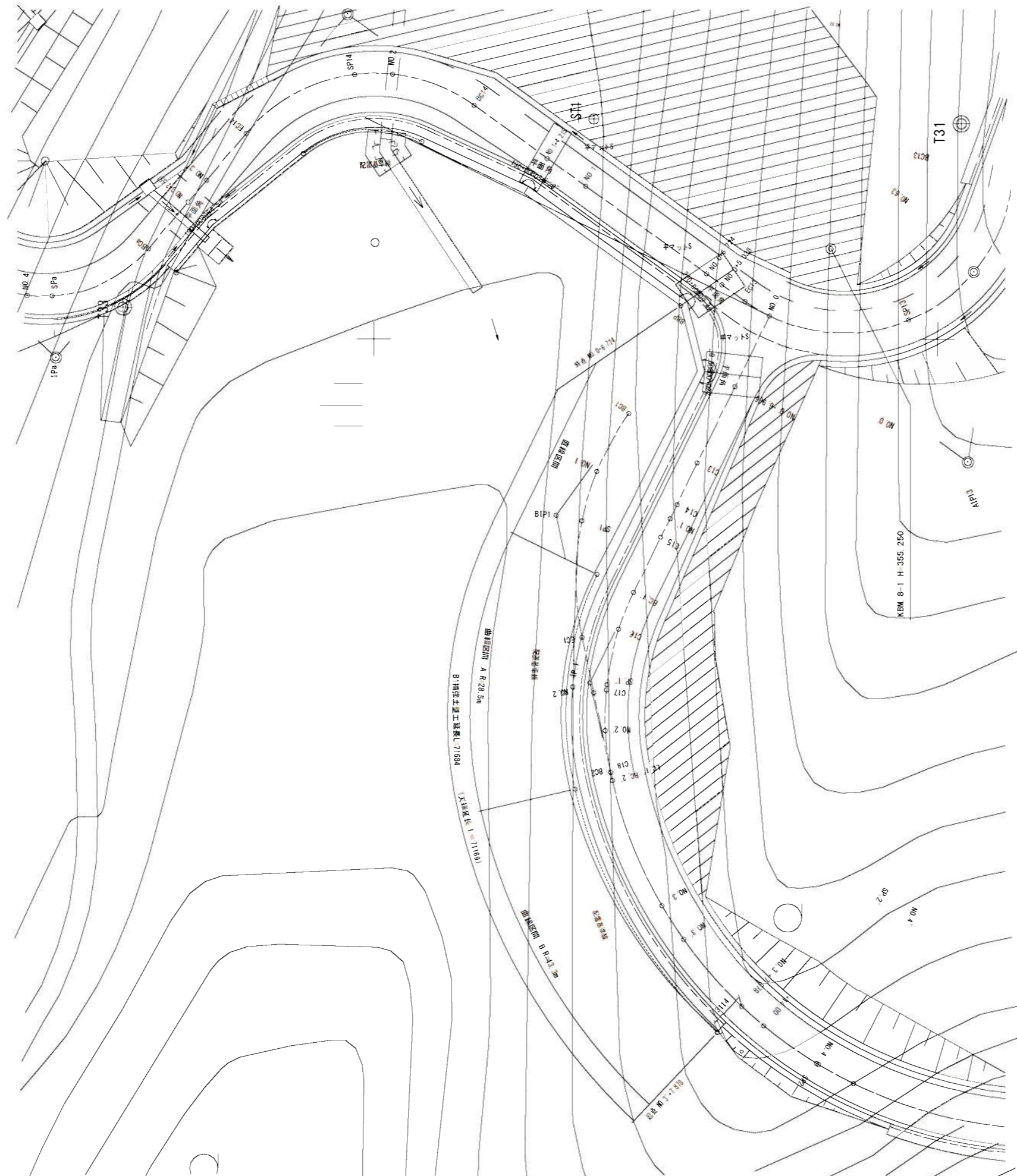
道路側溝PU3-300A

名称	規格	単位	数量	摘要
道路側溝	PU3-300A	個	16.5	
砂モルタル	1:3	m ³	0.11	
基礎材	RC-40 t=100	m ²	5.60	

工事名	平成30年度 生産管理用道路開設工事 (VI期:1工区)		
図面名	標準断面図		
年月日			
尺度	図示	図面番号	16
会社名			
事業者名	伊賀市 産業振興部 農村整備課		

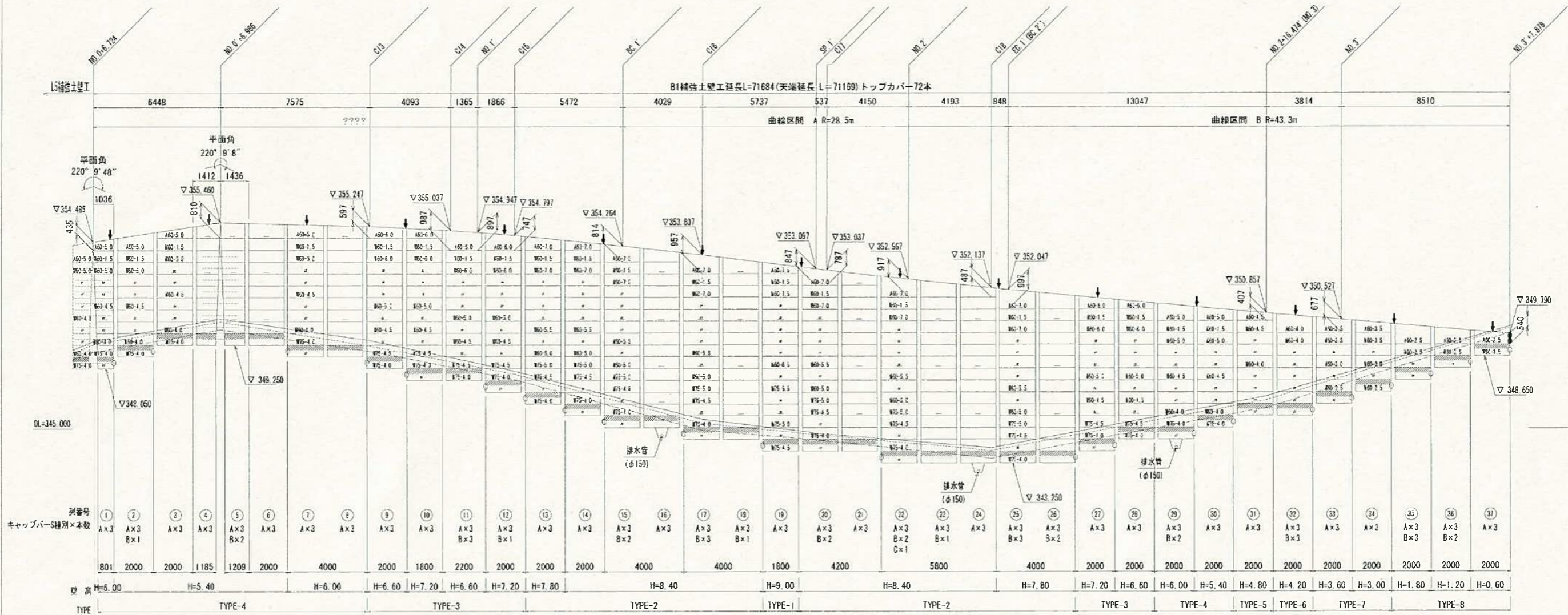
B1 補強土壁工平面図

S:1:200



工事名	平成30年度 生産管理用道路附設工事 (VI期: 1工区)	
図面名	B1補強土壁平面図	
作成年月		
縮尺	図面番号	17
会社名		
事業者名	伊賀市 産業振興部 農村整備課	

B1 補強土壁工展開図 S=1:100



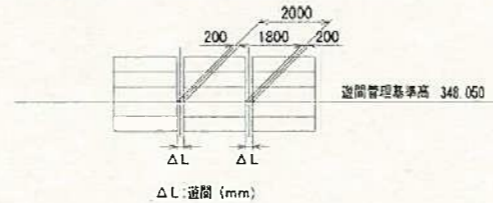
平マットS配置図 S=1:100

注：
 は、ジオメッシュ埋入部 配置区域を表す。(埋入部)
 は、補土マット 配置区域を表す。
 は、ジオメッシュ埋入部 折れ曲箇所を表す。
 は、補土マット 折れ曲箇所を表す。
 は、現況地盤線を表す。
 は、埋戻し線を表す。
 は、水平土被り1m線を表す。
 は、暗渠排水材 (B=300, l=30) 設置位置を表す。
 は、水平排水材 (B=300, t=10) を表す。
 特記無きマット幅は B=1.80m とする。
 調整トップマットSは、現場にて切筋加工すること。
 展開図における補土材の省略記号は、以下の通りである。

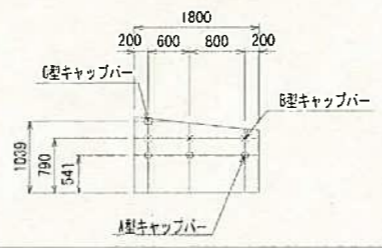
マット種類	マットサイズ	配材長 (m)
A (調整トップマットS)	60 (φ5×5=200×250)	60
B (ワイヤーマットS)	75 (φ7.5×5=200×250)	75

各壁高における配材寸法 (幅 (mm) - 控長 (m)) は、同じ壁高 (H=壁高 (m)) に対して同じ配法とする。
 配材Sについて、1.8m~0.8m幅のワイヤーマット1枚に対し、斜材を3組設置する。
 0.8m幅以下のワイヤーマット1枚に対し、斜材を2組設置する。

遊間 (ΔL) とは、マットとマットを設置する時のずれを示す。
 壁面勾配が 1:0.1 であるため曲線部では設置高により遊間の値が異なる。
 なお、標準の遊間 (ΔL=200mm) は遊間管理基準高 (FH=348.050) に設定している。

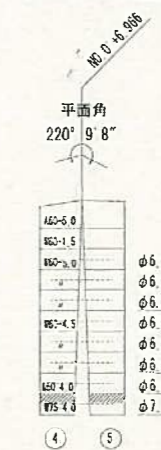


キャップバー配置図 S=1:50



設置高	遊間距離	備考
DL= 352.650	166	
DL= 352.250	171	
DL= 351.650	175	
DL= 351.050	179	
DL= 350.450	183	
DL= 349.850	187	
DL= 349.250	192	
DL= 348.650	196	
DL= 348.050	200	基準高
DL= 347.450	204	
DL= 346.850	208	
DL= 346.250	213	
DL= 345.650	217	
DL= 345.050	221	
DL= 344.450	225	
DL= 343.850	229	
DL= 343.250	234	

設置高	遊間距離	備考
DL= 351.050	186	
DL= 350.450	189	
DL= 349.850	192	
DL= 349.250	194	
DL= 348.650	197	
DL= 348.050	200	基準高
DL= 347.450	203	
DL= 346.850	206	
DL= 346.250	208	
DL= 345.650	211	
DL= 345.050	214	
DL= 344.450	217	
DL= 343.850	219	
DL= 343.250	222	

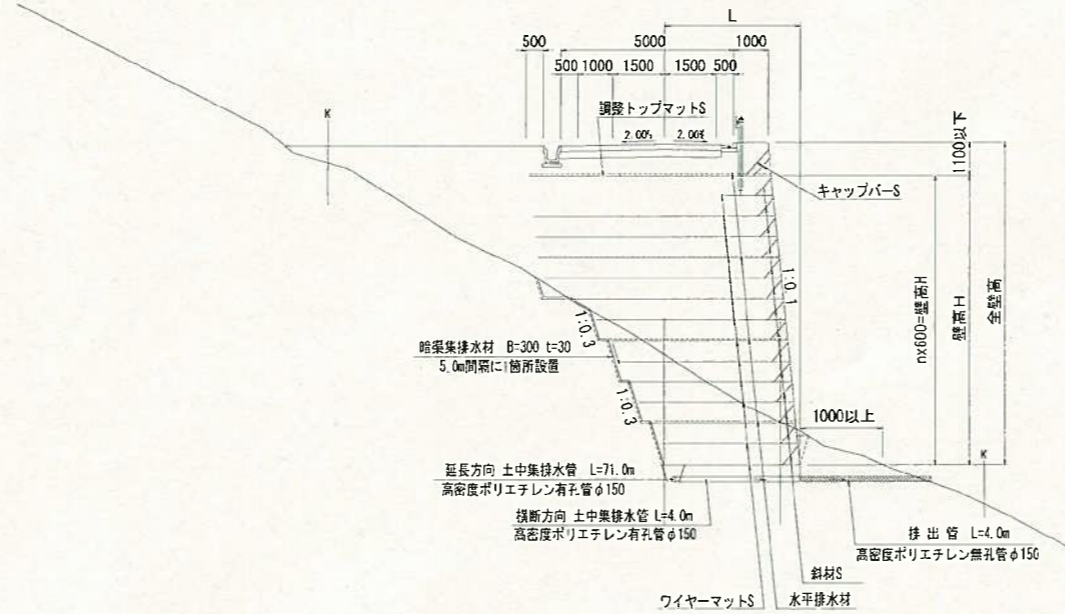


- φ6.0×5.0-1.8m×5.0m×2枚
- φ6.0×5.0-1.8m×5.0m×2枚
- φ6.0×5.0-1.8m×5.0m×2枚 計6枚
- φ6.0×5.0-1.8m×4.5m×2枚
- φ6.0×5.0-1.8m×4.5m×2枚
- φ6.0×5.0-1.8m×4.5m×2枚 計6枚
- φ6.0×5.0-1.8m×4.0m×2枚 計2枚
- φ7.5×5.0-1.8m×4.0m×2枚 計2枚

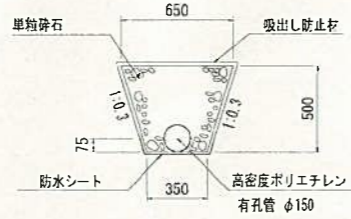
工事名	平成30年度 生産管理用道路開設工事 (VI期: 1工区)
図面名	B1補強土壁展開図
作成年月	
縮尺	図面番号 1E
会社名	
事業者名	伊賀市産業部 農村整備課

B1 補強土壁工計画図

標準断面図 S=1:100



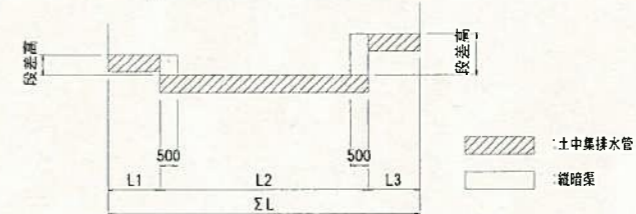
土中集排水管断面図 S=1:20



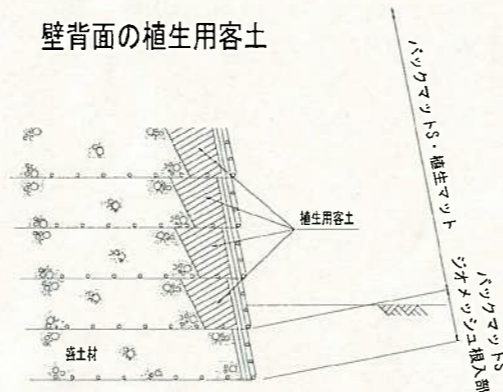
縦暗渠断面図 S=1:20



暗渠工標準配置展開図



壁背面の植生用客土



・盛土材が確実土等で、植生に支障のある場合は、
上記の様に、壁の背面を植生用客土により盛土する事。

設計条件

盛土材の単位体積重量	$\gamma = 18 \text{ kN/m}^3$		
盛土材の内摩擦角	$\phi = 35^\circ$		
盛土材の粘着力	$c = 0 \text{ kN/m}^2$		
活荷重	$q_L = 9 \text{ kN/m}^2$		
雪荷重	考慮しない		
設計水平変位	内的	外的	全体安定
	$kH=0.15$	$kH=0.11$	$kH=0.10$
設計壁の外的安定	単位	常時	地震時
	地盤反力 kN/m^2	$Q1=283.585$	$Q1=282.475$
支持力の安全率	$Fs \geq 1.0$		$Fs \geq 1.2$
必要な掘削支持力 kN/m^2	$q_u=830.755$		$q_u=576.950$

特記事項

- ・盛土材は以下に示す土質材料もしくは岩石質材料を使用すること。
(土質材料) 細粒分の含有率が 25% 以下のもの。
(岩石質材料) 最大粒径が 30mm 以下の粒径分布、もしくはスレーキング率 30% 以下の粒径分布、細粒分の含有率が 25% 以下のもの。
- ・管状材に土質材からの湧水が多量に発生する場合は、別途排水対策を講ずること。
- ・基礎地盤の掘削支持力が、上記の必要な掘削支持力以上であることを確認すること。
- ・補強材と土質材は一体型で掘削において 100% 確保を要するもの。または、これと同等以上と監理員が認めたものを使用すること。傾度低下が見られるものは使用できない。

施工管理基準値

項目 (規定)	
盛土材の総固め度 (盛土材 500mm ² に1回)	・JIS A 1210 の A, B 法による最大乾燥密度の 95% 以上又は C, D, E 法による 90% 以上とする。 ・細粒分含有率が多い場合 (20% 以上) で上記細粒分含有率が多い場合は、空気含水率を 13% 以下とする。 ・岩石質土材の場合は、工法規定方式で管理するものとする。
完成後の壁面勾配	・ $\pm 0.03H$ および 30cm 以内、ここで H は壁高。

工号名	平成 30 年度 生産管理用道路開設工事 (VI期: 1 工区)		
図面名	B1 補強土壁計画図		
作成年月			
縮尺	図面番号	19	
会社名			
事業者名	伊賀市 産業振興部 農村整備課		